



5月2日(火)、有珠山噴火で避難している方を励ます会が幌別小学校で開かれ、登別市老人福祉センターに避難している方のうち7人が参加しました(2日現在で18世帯36人)。

会では、各学年による歌などが発表されたほか、給食時には避難された方たちが3年生の2クラスに分かれて給食を一緒に味わうなど(写真)、和やかなひとときを過ごしていました。



特集

虹色の ランドセル 見い〜つけた



特集
虹色の
ランドセル
見い〜つけた

おめかしした子どもたちが、お母さんやお父さんに手を引かれ、小学校に初登校する日。

輝くような笑顔の子どもたちの背中には、ランドセルがピカピカと光っています。

男の子の背中には黒いランドセル、女の子の背中には赤いランドセルが。

春の風物詩ともいえるまちの風景ですが、この子どもたちの中に赤いランドセルを背負った男の子や黒いランドセルを背負った女の子がいたら、そのとき私たちはどう感じるでしょうか。

「男の子のくせに、なぜ赤いランドセルなんだろう。きょうだいのお下がりになんだろうか。それとも間違って買ったのだろうか」。

多くの人は、おそらくその理由を考えてしまうことでしょう。

でも、なぜ、男の子が赤いランドセルを背負っていると、奇異な感じがするのでしょうか。なぜ、『男の子のくせに』と無意識に思ってしまうのでしょうか。

『男女共同参画社会』は、男の子も女の子も好きな色のランドセルを選ぶことができる平等な社会です。



しかし、これらの問題解決に向けて取り組みもうとしたとき、多くの場合はその対応が女性に求められてしまうのが現状です。

育児や介護は女性という固定的な役割分担。急速に進む少子化の要因には、育児の負担感、仕事と家庭の両立、子育て後の就労継続の困難さ、教育費の高さ、個人の結婚観、価値観の変化による女性の晩婚化など、さまざまなことが考えられますが、その根底には性別による役割分担意識が潜んでいるのではないのでしょうか。

「男性は仕事をすることで家族を養い、女性は家事や育児などに専念して家庭を守る」。

古くから社会通念とされてきたこの性別による役割分担が、私たちの意識を支配し、女性の、そして男性の生活様式を縛り続けています。



▲子育てには、性別による役割分担はなく、親としての責任と愛情が求められる

女と男の用語集

◎ ジェンダー

生物学的な性差をセックスと呼ぶのに対し「男らしさ」や「女らしさ」といった社会的・文化的につくられた男女の性差（男女の性格などの特徴の差）のことを指す。

◎ 女性用語

女性であるという理由だけで、経済的・社会的・文化的な面で男性と差別されたり、不利益な扱いを受けたりして、持っている能力を十分に発揮できず、生き方や役割が規制されること。

◎ 参画

単に物事に参加するだけではなく、計画の立案の段階から加わること。

◎ 男女共同参画社会

男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野で活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的・経済的・社会的・文化的に利益を享受でき、共に責任を担うべき社会。

◎ 男女共同参画社会基本法

男女が性別による固定的な役割分担にとらわれることなく、職場や学校、地域、家庭などあらゆる場面でそれぞれの個性と能力を発揮できる社会をつかっていくため、5本の柱（基本理念）を打ち立て、行政と国民が果たさなくてはならない役割を定めています。平成11年6月制定。

◎ 基本法

国の行政の重要分野について、制度・施策に関する基本方針などを明らかにした法律で、その対象とする分野の施策を方向づけるもの。

◎ 男女共同参画社会基本法の基本理念

- ① 男女の人権の尊重
- ② 社会における制度や慣行についての配慮
- ③ 政策などの立案や決定への共同参画
- ④ 家庭生活における活動とほかの活動の両立
- ⑤ 国際的協調

◎ 男女雇用機会均等法

雇用の分野で男女の均等な機会と待遇の確保を目的として制定された法律。採用・昇進・定年などについて事業主の講ずべき措置を規定しているほか、機会均等調停委員会など紛争解決の措置、職業指導、職業能力の開発・向上の促進など女子労働者の就業援助措置が定められている。昭和61年施行。

なぜ、女性の役割分担が家事と育児、そして介護なのでしょか。

「女性には母性がある。だから、子育ては、まず母親が」。

母性神話と呼ばれるこの役割分担は、歴史的・社会的につくられたジェンダーに基づいて女性に求められてきたものですが、果たしてこの考え方は現代社会においても良識といえるものなのでしょうか。

また、子育てという親としての大切な責務を、主に女性のみが対応すべきことととらえてよいものなのでしょうか。多くの男性はこう言うかもしれません。

「子育てや介護は、もちろん夫婦で取り組むべきことだ。しかし、仕事があるからなかなか思うように時間は取れない。だから、妻に子どもの世話や親の介護をってもらうしかない」。

確かに、会社勤めをしている男性にとって、育児や介護のための時間は取りにくいものです。たとえば、会社に育

児休暇制度があったとしても、男性が育児休暇を取るとなると、制度上認められても社会通念から外れていると考える方が多いのではないのでしょうか。

「男のくせに、どうして育児休暇を取るのが。確かに制度はあるけど普通は使わないだろう。彼の妻は何をしているのか」。

ある人は、本人に忠告するかもしれませんが、本人に制止するかもしれませんが、制度としては認められているが、男性の場合は考えたほうがいいと。

では、女性の場合は育児休暇を取っても、違和感無く受け入れられるのでしょうか。また、女性ならば仕事をしながらでも育児や介護のための時間を取れるのでしょうか。

答えは、やはり否です。性別による役割分担が、「女性の場合は、しょうがない」と思わせるだけ



特集 虹色のランドセル見い〜つけた

で、性別を超えた平等な認識ではありません。男性の育児休暇は受け入れ難く、女性の育児休暇はしようがないと受け入れられる。

仕事と家庭を両立するため、自由度の高い価値ある制度をつくっても、それを利用する私たちの意識が自由でなければ、その真価を発揮することはできないのです。

意識の変革。それは、制度の変革よりも難しく大きな問題です。

一人ひとりが、男性と女性の役割分担や雇用慣行など、社会全体の在り方に深く関連する女性問題の背景を幅広く見極め、人が性別によって左右されない個人としての自立や自己実現が図れるような『男女共同参画社会』の実現が今、望まれています。

今日からでもできる 一人ひとりの参画社会

職に就いて働き、収入を得るといふことは、生きていく上で欠かすことのできない大切な生活基盤です。

真に平等で、だれもが生き生きとした人生を送るためには、就労での男女格差を解消することが重要で、男性と女性がそれぞれ持っている能力や個性を職場で生かせる環境を整えていくことが必要です。

男女雇用機会均等法の施行や労働基準法の一部改正などの法的整備によって、企業内における雇用の差別は法的には解消されてきたとはいえませんが、現実には本当に平等であるとはいえない

状況にあります。

その背景の一つとして、日本企業の労働管理の特徴といわれてきた『終身雇用制度』があげられます。

一つの企業に長く勤め、定年までの間、企業に貢献し続けることに価値観がおかれるこの制度上では、出産や育児、家事、介護など、社会を構成するための基本的で重要な活動が考慮されておらず、その役割を社会的・文化的に当てられる女性にとっては極めて不利なものとなっています。

男女間の賃金の格差、職域の限定、管理職への登用の僅少といった現状は、これらの制度や性別による役割分担から導き出されたものだともいえるのです。

私たちのまちの男女共同参画社会づくりを推進するために設立された市民組織「のぼりべつ男女共同参画懇話会」が、平成10年度に行った「男女平等についての意識調査（無作為に抽出した市内に在住する20歳以上の男女500人を対象に実施、247人が回答）」では、「女性の人権が尊重されていないと感じること」の設問に対して、「職場における差別待遇（男性45・6割、女性47・7割）」と答えた方が男女ともに最も多く、いまだに男女が平等に就労していない現状がうかがわれます。

男女によって職場で受ける差別待遇それは、賃金や雇用形態などに表れているのかもしれない。

市が、平成10年度に実施した「労働基本調査報告書」では、事務系の正社員の月額平均賃金（5人以上の従業員

お客さまとの交流を大切に、強い意思をもって仕事に取り組みたい。

私の男女共同参画社会

定期路線バスの運転手さんに、あこがれていたんですよ。道南バスに入社する前は、運送会社の事務員として働いていたのですが、もともと車の運転が好きだったせいか、自分でもダンブカーの運転をしてみたいと思い、大型免許を取得しました。

その後、ダンブカーやチームパークの送迎バスの運転をしていましたが、大型免許を取得してからは、路線バスの運転に強くなるようになり、道南バスの入社試験に挑戦しました。入社当時は、バス停の場所や路線を覚えるのに苦労しましたよ。今となっては笑い話ですが、お客さまに道順を聞いたこともありました。



四方千代さん

よもちよ●昭和39年生まれ。胆振・日高地方の定期路線バスで初の女性乗務員。室蘭市内全域と登別市内の33系統（路線）で定期路線バスを運転。道南バス社に入社して5年目。中学3年生の始の母として、子育てに取り組み

るので、人間的にも要求されます。運行時間を守り、安全確実な運転をすることも重要ですが、お客さまとの交流も大切にしていきたいと思っています。乗務員同士のつながりも大切にしたいですね。男性ばかりの職場ですが、女性だからといって、いやな思いをしたことはありませんし、さまざまなアドバースもしてくるので、本当に感謝しています。

今年の4月に、2人目の女性乗務員が入社したんですが、これからの時代は、女性が男性だけの職場だと思われていた職場でどんどん動くべきだと思います。乗務員という職種も、これまででは女性がなるとはなかなか想像できなかったと思いますが、腕力がなければできないわけでもありませんし、強い意志があれば女性でもこなせる仕事だと思っています。



虹色のランドセル



自分のやりたいことが
できないのは、
やろうとしないから。



大谷京子さん

おたにきょうこ ●
昭和34年生まれ。平成
9年に発足した「のぼりべつ男女共
同参画懇話会」の設立
当初からのメンバー。
会では、イベント
班として8月17日
はに開催される「は
あちにいフェスタ・
のぼりべつ」の企画
立案などを担当。

私の男女共同参画社会

これまでも「自分のやりたいことは
やってみる」というジェンダーをあまり
意識しない生き方をしてきたんです
が、懇話会ではいろいろと学ぶことが
ありました。
もともと、性格的なものもあったの
かもしれませんが、自分のことに閉じ
ては自分の意見を通してきた方です。
でも、意見を通すからには、そして
やると決めたからには何事にも全力投
球で取り組んできました。
だからといって、苦しみながらでは
ないんです。どんなことでも、自分な
りに楽しみながらできる方法があると
思っています。自分もやりたいことをや
るし、夫もやりたいことをする。子育
てもそうでした。まあ、子どもは勝手
に育ってくれたのかなとも思いますが、
子育てでも家事でも、無理に役割分
担をするのではなく、できる状態にあ
る人がするという方が自然だと思っ
ます。だれかがやってくれるから、自
分は楽をするというのではなくて。息
子もそんなふうと考えてくれていま
す。20歳になった今でも率先し
て家事を手伝ってくれますよ。「みん
なが働いているときは、自分も働かな
きゃ」と思うことが大切ですよね。

女性と男性の在り方についてと同じ
ことがいえると思います。男女共同参
画社会を実現していくためには、まず
女性が多額の意思をきちんと表現でき
ないとだめだと思っています。自分のや
りたいことができないのは、やること
しないからじゃないでしょうか。女性
の意識が受け身ではいけないんです。
でも、一人ひとり個人差があります
から、すべての女性が無理にそうある
べきだとは思いません。私の母は、家
事や育児は自分がすべきことだと思っ
ていましたし、父もそれだと思っ
ていました。それはそれでいいのだと
思います。

男性と女性の役割分担というのは十
人十色なのではないでしょうか。動物
を例に見ると、ペンギンのオスはメス
がえさを捕りにいっている間、ずっと
卵を温めています。ライオンのオスは
メスが捕った

獲物を一番最
初に食べます。
人間の男性と
女性の役割分
担も、生活し
ていく上で一
番良い方法を
それぞれが選
んでいくべき
だと思えます。

のぼりべつ
男女共同参画懇話会

平成9年12月、男女共同
参画社会づくりを推進する
ために設立された市民組織。
懇話会のメンバーは公募
で選ばれ、現在15人の市民
が女性の社会参画や女性問
題などの学習を行っています。
懇話会では代表者を決め
ず、月番制で決めた座長が
リーダーとなって月1回の
学習会や公開講座を開くなど、
メンバー全員が会の運営
にかかわるといったユニ
ークな方法を採用しています。

また、平成10年には『男女平等につ
いての意識調査』を実施し、平成12年
3月には『男女共同参画社会の実現に
向けた提言』を市に提出、『働く女性
(パートタイマー)の就労の実態に關
する聞き取り調査』の報告書を作成する
など、活発な活動を展開しています。

▶のぼりべつ男女共同参画懇話会につ
いての問い合わせ

企画広報室 (☎1122)

を雇用している146企業から回答)に男
女間で約12万円の幅があり、また、臨
時・パートの平均時給額でも約70円の
格差がありました。
ある事業主はこういうかもしれませ
ん。

「女性を男性と対等な条件で雇用す
ることもできる。しかし、女性は結婚
とともに退職する人も多く、もし結婚
後も引き続き働いてくれたとしても、
出産のための育児休暇を取るかもしれ
ないし、子育てもあるだろうから仕事
よりも家庭を重視するだろう。重要な
業務は、担当させるわけにはいかない。
賃金の面で差が出て、業務内容が違
うのだから仕方がない。女性を雇用す
るならパートタイマーの方がいい」。

確かに、事業主は法的に許される範
囲内で利潤を追求するものですし、企
業運営ということを考えたなら業務内容
による賃金格差は当然なのかもしれま
せん。
しかし、単に男性や女性というだけ
で、業務内容や賃金に差が生じるのは

問題です。

「男は仕事、女は家庭」という考え
方のもとに、女性が職に就くことを二
次的なものだととらえ、女性の業務は
お茶くみや掃除、コピー取りでよいと
考えたり、「結婚したら仕事をやめる
のは女性」という職場の雰囲気づくり
は改めるべきで、決して良識とはいえ
るものではありません。

女性の職場進出が進み、女性がひと
りの人間としてその個性や能力を尊重
され、活躍できる場の実現は、私たち
の意識を改革することから始まります。
**喜びと責任を共に分かち
合う男女共同参画社会**

男性と女性が、社会の対等な構成員
として、自らの意思によって社会のあ
らゆる分野における活動に参画する機
会が確保され、政治的、経済的、社会
的、文化的な利益を享受することがで
き、共に責任を担うべき社会「男女共
同参画社会」。

市は、性別による隔てがなく、だれ
もが生きがいをもって生活できる社会
を実現するため、平成9年4月に女性
行政を担当する係を設け、「のぼりべ
つ男女共同参画懇話会」をはじめ、女
性問題などに取り組む団体の活動を支
援してきました。

男女共同参画社会を実現するための
最大の問題は、男性と女性の役割分担
という考え方。制度の変更や法律の制
定だけでは実現できない社会が、この
『男女共同参画社会』なのです。国や
都道府県、市町村が人々の考え方やも



特集 虹色の ランドセル見い〜つけた

男女共同参画社会の実現に向けた提言

男性と女性が対等な立場に立ち、自らの意思で社会参画できる社会づくりを目指す『のぼりべつ男女共同参画懇話会』が市に提出した提言で（平成12年3月提出）、6項目を柱にまとめられています。



◎提言の柱（6項目）

- ① 男女共同参画社会の実現を目指す意識づくり
- ② あらゆる分野への男女共同参画の促進
- ③ 男女が働き続けるための条件整備
- ④ 生涯にわたる女性の健康支援と福祉の充実・環境保全
- ⑤ 女性センターの設置について
- ⑥ プラン推進のための方策

はあもにいフェスタ ・のぼりべつ

とき **6月17日(土)**
開場 13:00
開演 13:30

ところ **市民会館
大ホール**



■ 女と男 ともに創ろう新時代

家庭や地域、職場などあらゆる分野に女性と男性が平等に参画する「男女共同参画社会」の実現に向け、「女と男 ともに創ろう新時代」をテーマに『はあもにいフェスタ・のぼりべつ』を開催します。

内容

- ◎講演会／宇宙飛行士を妻にもつ「万起男さん」の生き方って？
テーマ：女房が宇宙を飛んだ
講師：向井万起男さん（宇宙飛行士・向井千秋さんの夫、慶應義塾大学医学部助教授）
- ◎寸劇／「すべてはここから始まる」（脚本 かつしか女性会）
- ◎ジェンダーチェック／性差別的な意識や行動のチェック

入場料

無料。入場整理券は市役所総合案内、各支所、市民会館受付で取り扱いしています。

もちろん、男性と女性が肉体的上の問題でまったく平等でいるということとは難しい問題です。また、これまで家事や育児に専念し、それを喜びとしてきた女性も大勢いるでしょう。

男女共同参画社会とは、肉体的上の平

「男性と女性は体の構造が違うのだから、すべてが平等になるわけではない。ましてや、男性と女性があったく平等に扱われることに異を唱える人も大勢いる。それは男性だけではなく、女性にもいる。」

ののらえ方を見直してくださいというのと、奇異なことと受け取る方も多いかも知れません。

しかし、行政をはじめ、事業主や私たち個人一人ひとりが、ジェンダーによる性差別的な考え方を見直さない限り、少子高齢化による社会の活力の減退や介護問題を根本的に解決することはできません。

等ということではなく精神面を重視した社会であって、個人の個性や能力が尊重される社会です。そして、家事や子育てに取り組み女性を決して軽視するものではありません。

アンペイド・ワークと呼ばれる家事や育児、介護、ボランティア活動など、家庭や地域での無償労働なくして、私たちの社会は決して成り立ちません。

しかし、これらのアンペイド・ワークの約り割を女性が担っているのも現実なのです。男女共同参画社会の実現には、男女が共に有償労働と無償労働を分かち合うことが求められています。

総理府の「女性の現状と施策（女性白書・概要版、平成8年3月）」によると、夫婦の役割分担で「男は仕事、女は家庭」という考え方を支持する人が減少している傾向にあり、昭和54年には女性のうち「同感する」が35・7割、「同感しない」が34・2割で大き

な差が見られませんでした。平成7年の調査では「同感しない」が53・9割と「同感する」の22・3割を大幅に上回りました。男性についても「同感しない」が40・2割で「同感する」の32・9割を上回り、男性も含め社会全体の意識変化が進んでいます。

また、男性の家事時間については、この20年間で1日わずか6分しか増えておらず、男性有職者は仕事にほぼ専念し、女性有職者は仕事と家事の双方をこなすことにより自由時間を削るという新たな役割分担「男は仕事、女は仕事と家庭」が生まれています。

男女共同参画社会は、社会的・文化的に男性や女性の在り方をきめつけるものではありません。働くことに生きがいを見いだす女性や、家事や育児に生きがいを見いだす男性を決して異なるものとしてとらえない社会であり、喜びと責任を男女が平等に分かち合う社

人が生きていく以上、背負わなければならない喜びや責任は、歴史や社会、文化が決めるものではなく、自らの意思で背負っていくもの。

男女共同参画社会は、性差という名のランドセルを背負うことなく、喜びや責任という名の虹色のランドセルを背負っていく社会です。

一人ひとりが自分らしく輝けるように。

人が生きていく以上、背負わなければならない喜びや責任は、歴史や社会、文化が決めるものではなく、自らの意思で背負っていくもの。

男女共同参画社会は、性差という名のランドセルを背負うことなく、喜びや責任という名の虹色のランドセルを背負っていく社会です。

一人ひとりが自分らしく輝けるように。

人が生きていく以上、背負わなければならない喜びや責任は、歴史や社会、文化が決めるものではなく、自らの意思で背負っていくもの。

男女共同参画社会は、性差という名のランドセルを背負うことなく、喜びや責任という名の虹色のランドセルを背負っていく社会です。

一人ひとりが自分らしく輝けるように。



▶ 札内高原館として生まれ変わった旧札内小学校校舎



札内高原館オープン

4月28日(金)、札内高原館のオープニングセレモニーが行われました。この札内高原館は、地元の農畜産物を活用した加工研究や開発などを行う施設として、昨年10月から約1億5千万円をかけ、札内町の旧札内小中学校の校舎を改築したものです。

同施設を利用する登別市農業振興研究会では、地元産の食肉や乳製品の加工・研究をはじめ、将来は地場産品として、特色ある札内ブランドの開発を目指しています。同研究会の農畜産物加工研究部会長・川西悟さんは「付加価値の高い製品づくりのため、地元農家の方にも一緒に加工・研究に加わっていただきたいですね。製造技術のノウハウを確立して、なるべく早い時期に市民や観光客にも手づくり体験をしてもらえるよう取り組んでいきたい」と抱負を語っていました。

この日のセレモニーには、伊達市農業協同組合や地元町内会などの関係者約50人が出席し、最新の加工設備や旧校舎を活用した市民交流の場などを見学した後、同施設で試作された牛乳をはじめチーズやソーセージ、アイスクリームなどを試食するなど、新しい地場産品を味わっていました。



札内ブランドの開発を

受章 ～春の叙勲・褒章～ おめでとうございます



おおつきひでお
大槻英雄さん (61歳)
美園町2丁目17-3

くん なな とう せいしよくとう ようしょう
勲七等青色桐葉章

昭和33年、北海道開発局室蘭開発建設部室蘭道路事務所に入り、昨年3月の退職まで、道路工手として国道36号・37号の維持・管理に尽力されました。



きむらさぶろう
木村三郎さん (73歳)
美園町3丁目23-5

らん じゅ ほうしょう
藍綬褒章

昭和49年から現在まで26年間、保護司として犯罪や非行を犯した人の指導・援助にあたるなど、更正保護に尽力されたほか、登別地区保護司会会長を務め、「社会を明るくする運動」など、犯罪予防活動の推進に尽力されました。

4月22日(土)、文化伝承館で体験学習「ミニこいのぼりづくり」が行われ、小学生とその父母など18人が参加しました。参加者は、郷土資料館ボランティア「SLG」がこいのぼりにかたどったビニール袋やカラービニールに、うろこや目などを思い思いに描き、吹流しなどと一緒に木製のスタンドに飾り付けました。幌別小学校1年の川田健太郎君は「お母さんに見せてから部屋に飾ります」と満足そうにほほえんでいました。



手づくりのこいのぼりができたよ

～MINUS6まつり～

現状を知り、まちづくりを

～第4回のぼりべつ市民大学～

4月22日(土)、婦人センターで市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会主催による「第4回のぼりべつ市民大学」が開かれ、約100の方が参加しました。この日は、「住んでいることが誇りに思える登別のまちづくり」をテーマに北海学園大学の森啓教授による講演が行われたほか、市内のまちづくり団体などの代表者7人による円卓討論が行われ、まちづくりなどについての意見を交わしていました。

▶ まちづくりなどについての円卓討論



▶入選1席となった写真「大きな夢と希望を胸に」



全国広報コンクールで 入選1席 ～広報写真の部（一枚写真の部）～

自治体の広報紙・写真の優秀作品を選ぶ平成11年度全国広報コンクール（日本広報協会主催）で、平成11年2月1日号の『広報のほりべつ』の表紙を飾った写真が、特選に次ぐ1席に入選しました。

入選した写真は、昨年、登別マリンパークニクスを会場に行われた成人祭での若者たちの姿をとらえたもので、平成11年度北海道広報コンクール・広報写真の部で登別市初の特選となった作品。全国広報コンクールでは、都道府県から各1点が出品され、参加作品46点の中から全国2位となりました。

市は、今後も市民のみなさんと共にまちづくりに取り組んでいくための情報誌として、広報紙の充実を図ってまいります。広聴広報活動や広報紙に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

▶ご意見・ご感想は、企画広報室（☎51122）

人との交流を楽しみ いろいろなことを学びます

～登別市老人大学・大学院入学式～



今年で開校20周年を迎えた登別市老人大学と大学院の入学式が、4月26日（水）、市民会館で行われ、新入生67人と大学院生7人が在校生の拍手で迎えられました。

式典では、上野市長が「自己充実のためにもいろいろなことを学び、豊かな知識や経験を次の世代に伝えていってください」とあいさつ。日向定行さんが新入生を代表して、「仲間とのふれあいや交流、さまざまな学習を楽しみ、学んだ成果を地域社会に役立てるよう努力していきたい」と抱負を述べました。

新入生の竹口笑子さんは、「老人大学に在籍している友達から「自分のためになることがたくさんある」と聞き入学しました。これから、いろいろなことを勉強したいと思います」と今後の目標を話してくれました。

豊かな大地で大きく育て！

～市民農園開園～

晴天に恵まれた5月15日（用）、農業を通じた自然とのふれあいや、高齢者の生きがいづくりなどの場として、札内町に市民農園が開園しました。

水道施設や簡易トイレを完備したこの市民農園は、40区画が開放され、申し込みされた方に割り当てられました。

連日降り続いた雨で、足もとがぬかるむあいにくの土壌状態となりましたが、「子どもたちに、お日さまを浴びて体を動かした方がいいよと勧められ、耕し方もよく分からないけどやってみようと思いました」と初めて農作業を体験する方や、「子どものころ以来50年ぶりなんです。ジャガイモや大根、カブなどを植えることにしました」と昔を思い出しながら耕す方など、参加された方々は、それぞれに収穫を心待ちにしながら、くわを手になしように畑を耕していました。



5月5日（金）、市営陸上競技場で登別子ども育成連絡協議会主催の『第25回こいのほりマラソン大会』が開催されました。

このマラソン大会は、3・5・7歳の3つのコースに分かれ、自分のペースで完走することを目指したもので、4歳から86歳までの男女181人が参加し、五月晴れのもと心地良い汗を流しました。3歳の小学校女子の部で、1位でゴールした鈴木玲花さん（幌別小学校6年）は、「前回2位だったのでうれしいです」と応援に来ていた家族と喜びを分かち合っていました。

登別市こいのほりマラソン大会



親子でのんびり
完走しました

第25回こいのほりマラソン大会

きらりはつらつ
みちたりライフ

『生涯学習』で毎日を

輝かせてみませんか



あなたは『生涯学習』という言葉をご存知ですか。『学習』という言葉から堅苦しいイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。

学習といっても、他人から強制され、無理をして行うものではありません。

自らの生活を豊かにするために学ぼうと思いついたとき、生涯学習は始まります。

生涯学習であなたの生活を『みちたりライフ』にしてみませんか。

人は生まれたときから 学びが始まります

私たちは、生まれたときから学びが始まります。赤ちゃんは、生まれてすぐミルクの飲み方を覚えることから始まり、家庭でのしつけなどを学びます。

やがて、学校での勉強や地域社会でいろいろと学ぶ機会に出会います。学校を卒業して、社会に出るからは仕事などにかかわることを学び、そして退職後は豊かな人生を送るため趣味などの生きがいづくりを学ぶなど、私たちの人生は学びの連続といえるのではないのでしょうか。

暮らしそのものが ふとした学びの連続です

私たちは、日ごろの暮らしの中で趣味に関するテレビ番組を見たり、仕事に関する本を探したり、育児に関する新聞記事を読んだり、いろいろなことを学んでいます。暮らしそのものが「ふとした学び」の連続かも知れません。

このふとした学びをきっかけに「さら

に学びたい」という意欲が生まれ行動に移すとき、生涯学習がスタートします。

一人ひとりが自由にテーマを選び、自分にあつた手段・方法を探りながら、生涯にわたって必要なことを必要なときに学ぶ、これが生涯学習です。

「さらに学びたい」という意欲が生活に充実感を与え、同じ趣味をもつた方などとの新しい出会いが生まれるのではないのでしょうか。

学校の勉強だけでは 成長できません

「学校の勉強をしつかりしていれば、あえて学習する必要はないのでは？」。生涯学習に関して寄せられる質問のひとつです。

学校の勉強だけでひとりの人間として人格形成ができるのでしょうか。人は決して学校の教育だけで大人になるわけはありません。

学校入学前は、家庭のしつけが重要で、学校に入学後は、地域での遊びや行事への参加をはじめ、いろいろな習いごとやスポーツなど、さまざまな活動を通じて、仲間や指導者などのかかわりの中で大切なことをたくさん学び成長していきます。子どもの成長や発達を学校だけでなく、社会全体で支えていく、これも生涯学習です。

また、職場や家庭にコンピュータが普及してきたり、外国人に接する機会が増えるなど、目まぐるしい社会の変化には、かつてのように学校で学んだことだけでは対応できず、新しい知識や技術を身に付ける必要を感じる時に会おうかもし

進めて
います

生涯学習

市は、今年の3月、『きらり はつらつ
みちたり ライフ』をキャッチフレーズとした、生涯学習を推進する『登別市生涯学習推進基本構想』を策定しました。

【基本構想の大纲】

■生涯学習基礎期間の充実

家庭教育への支援や、青少年が参加できる体験学習・社会参加活動の充実を図ります。

■多様な学習機会の充実

情報技術や国際理解をはじめ、社会の変化に対応した学習機会が得られるよう努めます。

■市民活動・交流の促進

団体・サークル活動への支援やボランティア活動を促進するための取り組みを進め、学んだ成果の発表の場や活用の場を広くつくり出します。

■生涯学習推進の条件整備

生涯学習関連情報の発信や相談体制を充実させるとともに、勤労者や障害をもつ方など、だれもが参加しやすい学習機会の確保に努めます。

この「生涯学習推進基本構想」をまとめた冊子をはじめ、市内の生涯学習の状況をお知らせする「生涯学習ニュース」“明日をひらく窓”、生涯学習サークルなどを紹介する「生涯学習へのお誘い」、毎月の生涯学習関連事業を紹介する「生涯学習ガイド」を発行し、生涯学習に関する各種情報を提供しています。希望の方には無料で差しあげますので、詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ

生涯学習推進室 ☎1154

れません。
このように、長い人生には、学校の勉強以外に学ぶことがたくさんあるのではないのでしょうか。
いろいろなことに興味をもつことが生涯学習の原点です
生涯学習を始めるきっかけって何？
写真を上手に撮りたい、英会話をマスターしたい、料理を習ってみたい、健康づくりに関心があるスポーツを始めたい、郷土の歴史を知りたい、ボランティア活動をしたい。それぞれ学んでみたいと思うことはたくさんあるのではないのでしょうか。
また、文化伝承館や図書館、市民会館、総合体育館などで開かれる講座や体験学習、スポーツ教室など、市が行っている生涯学習事業に参加して、自分に合った学びの発見があるかもしれません。
いろいろなことに興味をもつ。これが

生涯学習の原点です。
では、学んだ先には何があるのでしょうか。学んだ仲間と充実感や達成感に喜びを分かち合う人。指導者の資格を取得するまで学習を続け、学んだ成果を地域の人たちへ伝えていく人。いろんなゴールが待っていることでしょう。
**人を大切に思う心や
共に生きる心をはぐくむ**
人はだれもがよりよく生きたいと願っています。毎日の生活の中で学びの場を自ら得ることで、生活が充実し、そして、かけがえのない一人ひとりを大切に思う心や、共に生きる心もはぐくまれていくのではないのでしょうか。
生涯学習でだれもがきらりと輝き、はつらつとした生活に満ち足りる感じを、「きらり・はつらつ・みちたりライフ」。21世紀はそんな暮らしをしてみませんか。

生涯学習サークル紹介

私たちが楽しく学んでいます



ボランティアグループ『S.L.G (学んで生きる仲間たち)』は、これまでの人生経験で得た知識や技術を生かし、郷土資料館の体験学習を支えています。



学んだことを発表することが、励みや楽しみになります。『老人大学院ハーモニカグループ』は毎年老人大学祭での発表や養護老人ホーム『恵寿園』などを訪問し演奏会を行っています。



子育てサークル『ミッキーズ』。お母さんは育児の情報交換、子どもたちは遊びを通して社会性を養っています。



昭和51年、教育委員会主催の婦人学級和裁教室の受講者を中心に結成された和裁サークル『小袖会』。初心者や和裁教室を開催するなど、和裁の楽しさを広げています。

元氣丸

宅配便



今月のアドバイザー
おくりまり 小栗麻里 保健婦

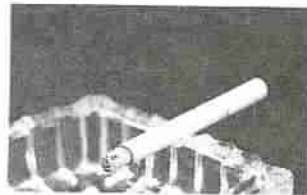
健康に悪いタバコ。タバコの煙には、発がん物質や発がん促進物質など多くの有害物質が含まれており、肺がんをはじめいろいろながんになる原因の約30%を占めているほか、心筋梗塞や狭心症、気管支炎などさまざまな病気を誘発します。

また、タバコの先端から出る副流煙には、直接吸う主流煙よりも約50倍もの発がん物質が含まれ、1日20本以上タバコを吸う人の妻は、たとえ自分が吸わなくても肺がんや死亡する確率が、吸わない人の妻に比べ約2倍になるという統計があります。

また、子どもの肺は大人に比べてタバコの害を受けやすく、将来がんになりやすいといわれています。

このように、タバコは吸う人も吸わない人にも体に悪影響を与えています。愛煙家の方は、タバコの害を知って

自分と大切な家族の健康のために禁煙を



主流煙も約50倍もの発がん物質が含まれている
直接吸うよりも約50倍もの発がん物質が含まれている

いながらやめられない、今さら禁煙しても意味はないと考えている人が多いのではないのでしょうか。

でも禁煙を始めると約6年で、タバコを吸わない人と同じくらい肺がきれいになるなど、タバコの悪影響が大きく減少するといわれています。

禁煙を成功させるためには、
①1人より2人で励ましあつて実行する

②灰皿やライターは身近に置かない

③食後はすぐに食卓を離れ、後片付けや散歩で体を動かす

④できるだけ酒類は控える

そして、どうしても吸いたくなつたときには、

①禁煙の決意を声に出して言つてみたり、紙に書いてみる
②水を飲んだり深呼吸する

禁煙は今からでも決して遅くはありません。自分と大切な家族のために、思い切って禁煙を。

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

ドジッタマザーズ



卓球の試合は、普段の生活では味わえない緊張感を楽しめます

「ドジッタマザーズ」は、昭和51年、教育委員会主催の卓球教室受講者で結成された卓球サークルです。会員は女性13人男性4人の計17人。卓球技術の向上を目指して週2回、総合体育館で練習しています。

同サークルは、室蘭・登別・伊達3市の婦人卓球競技団体に構成される「室蘭地区ママさん卓球連絡協議会」に加盟しており、毎月のように開かれる競技会に参加し、過去に優勝した経験を持っています。

サークルの代表と指導者を兼ねる長尾恵子さんは「卓球は小さな台の上でする競技ですが、卓球台の何倍もの広さを動き回り、全身を使う運動量の激しいスポーツです。試合に勝つためには、ラケットに張るラバーの種類を工夫したり、ボールを打つ角度や回転を変えたり、高度な技が必要で奥が深いですね。練習日には、午前と午後2時間ずつ練習し、



▲高度な技術を覚えていくのも卓球の楽しさの一つ

いい汗をかいています。昼休みには銘々で持ち寄ったお弁当を広げて楽しい昼食時間を過ごしていますよ」とサークルの様子を教えてくださいました。

入会して4年目の中川京子さんは「卓球はストレス解消に最適です。3年前から大会に出場していますが、普段の生活では味わえない緊張感を楽しんでいます。全体重を乗せて打ったスマッシュが決まったときのその快感は格別ですね」と卓球の魅力を話してくれました。

「激しい練習はダイエットに効果があるのでとよく聞かれますが、練習のあとにはジュースを飲んだりお菓子を食べってしまうのであまりやせませんね」と会員のみなさんは大きな声で笑っていました。

入会を希望する方は長尾さん（☎7335）までどうぞ。

有珠山噴火に みんな負けるな!

有珠山が噴火してから2カ月が過ぎましたが、被災された方々にとつては、この2カ月がとてつもなく長く、そして不便な毎日を通り越されているのではないかと思います。

このたびは、関係者の対応が早く、避難もスムーズに行われ、1人の犠牲者も出さずに済んだと聞いています。
それは、雲仙普賢岳や阪神大震災、奥尻沖の地震など、過去の災害が、围をはじめ、道や各市町村、住民のみなさんが教訓として生かしたからだと思います。

私たちが、いつ、どのような災害に見舞われるかわかりません。
今回の噴火も人ごととは思わず、自分たちの身に置き換えて、考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

有珠山の現場で働く人 たちに頭が下がります

「蛇田町職員に感謝。みなさん忙しい毎日が続き、疲れも重なってき

(二市民)

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室

☎ 851 122

FAX 851 108

Eメール:n-koho@earthcape.ne.jp

中央町6-11

ているのによくしていたいただき自分たちも頑張ろうという気になりました。た」という新聞記事を読みました。

避難している知人からも、自衛隊や消防、警察、そして市役所や現場の職員の方などは、寝る場所もなく、食事はコンビニのおにぎりなどで済ませ、安全を確保するために頑張っているという話を聞きます。

被災されている方はもちろん大変な思いをしていると思いますが、その陰で危険と隣り合わせで頑張っている方々の苦勞があるということ、私たちは理解しなければいけませんね。

(柏木町 女性)

ふるさとの 文化遺産

カモイワツカ



【所在地】

登別市中登別町170番地

カモイワツカとはアイヌ語で「神の水」を意味します。

その昔、干ばつのため、どの川も乾いてしまったとき、ここだけは清水が豊かにわき出していたことから、この名が付いたといわれています。

明治・大正時代には、休憩所として旅人たちが渴いたのを潤したほか、馬車鉄道や軽便鉄道が通っていたころは、馬や蒸気機関車の給水に利用されました。

なお「神」は普通、アイヌ語で「カムイ」といいますが、松浦武四郎が著した「蝦夷日誌」に「カモイワツカ」と表記されていることから、そのまま引用しています。

▶問い合わせ 社会教育課

(☎ 851 129)



あすなろ

やました 山 下 篤 さん (33歳)

酪農経営

質の良い生乳の生産を目指し、常に研究・工夫しています

「工夫と努力次第で、質の良い生乳を生産することができ、やりがいのある仕事と思っています」と話す山下さんはお父さんの後を継いで酪農業を営んでいます。

現在、75頭の牛を飼育し、良質な生乳の生産を目指して、混合飼料の工夫など常に研究しています。

この4月からは、NAS（登別農業後継者）クラブの会長に就任し、情報や意見交換などを通して会員の連携と親ほくに力を入れています。

「地域の農業振興のため、乳牛飼料の栄養管理や飼料価格の低減、作業の省力化を図るため、共同による飼料混合施設の設置に向けて取り組んでいます」と今後の酪農経営について話していました。



避難された方々の食事の支度。体は疲れてもストレスはありません

有珠山が23年ぶりに噴火し、2カ月が過ぎましたが、被災された多くの方は、いまだに近隣市町村での避難所生活を余儀なくされています。

登別市でも老人福祉センターを避難所とし、4月10日以後、30人を超える方を受け入れました。

登別市赤十字奉仕団は、市が受け入れを始めてから4月末まで、三度の食事の支度を行い、その活動は連日午前7時から午後8時までにも及びました。

「団の委員長として活動のリーダー役を務めた吹越さんは、「みんな頑張りました。かなり疲れたはずですよ。私ですか。体は疲れても、ストレスはありません。団員がみんな役割をしっかりとこなしてくれているんです。私が頭を悩ませることってないですよ」と、団員を気遣います。

人が好きだからこそ、ボランティア活動を続けていける

「幼いころ、父親から『物を分け合うときは大きな方を相手にあげなさい』と、とても大切なことを教えられました。亡夫には社会に出て学ぶことを勧められました。そして、今は素晴らしい仲間が私



▲市の総合防災訓練に参加する登別市赤十字奉仕団

をしつかり支えてくれていきます。

「私は幸せ者だなあ」と感じます。

吹越さんは、現在、登別市赤十字奉仕団のほか、登別市母子寡婦の会、登別市婦人短期大学同窓会などの団体で中心的な役割を務めています。

「同じ目的をもつ仲間と活動できることって本当に楽しいですよ」と笑顔で話す吹越さん。

「特にボランティア活動は、楽しくなければ長続きしません。仲間と集まってふれあう喜びがあるから、続けていけるのでしょう。

私の場合は、ただ人が好きなだけかも知れませんが、家事ですか。これまで、手料理を欠かしたことはありません。私の誇りです。」

優しさと己に対する厳しさ。素晴らしい仲間が集う理由がみえてきます。



きらり

KIRARI

ふきこしあいこ
吹越愛子さん (片倉町)

このたびの有珠山噴火災害で、登別市は老人福祉センターに虹田町から避難された方々を受け入れました。

市の施設で避難所生活を送る方々の食事を団員とともにおよそ3週間にわたって支度された登別市赤十字奉仕団の委員長・吹越さんに、ボランティア活動を続けるための秘けつなどを聞きました。

良き仲間とのふれあいが私のボランティア活動を支えている。



昭和8年8月生まれ。66歳。
さまざまな団体の要職に就き、まちづくりをリードする一方、レクリエーションダンスや剣詩舞(けんしまい)など、多彩な趣味をもち幅広く活動。

情報あらかると

児童手当制度が変わりました お早めに手続きを

6月から、児童手当の支給対象年齢が3歳未満から小学校入学前に変わりました。

対象になるお子さんの住民票が市内にある場合は、個別に申請書類と通知文を郵送します。

また、単身赴任などで保護者の住民票が市内にあり、対象となるお子さんの住民票が他市町村にある場合は、通知することができませんので、児童家庭課までご連絡ください。

なお、これまで児童手当の対象となっていたお子さんが、6月以降3歳に達した場合は、自動的に継続されるので手続きの必要はありません。

▼対象者 平成6年4月2日から平成9年5月31日までに生まれたお子さんのいる方

▼手続き方法 郵送した申請書類に必要事項を記入の上、児童家庭課に持参するか、郵送してください

▼受付期間 6月1日(木)～9月29日(金)

▼出張受付日程 鷺別、登別温泉、登別地区にお住まいの方は、次の日程で出張受付を行いますので、

ご利用ください

月日	時間	場所
6月22日(木)	10時～16時	鷺別支所
6月23日(金)	10時～12時 10時～15時	登別温泉支所 婦人センター

▼問い合わせ 児童家庭課 (☎5634)

鬼っ子サミット 体験学習参加者募集

市は、鬼をキーワードにした個性あるまちづくり事業の一環として、毎年、市内の小中学生を対象に「鬼っ子サミット」を開催しています。

今回は「国際交流」をテーマに、市内および近郊にお住まいの外国人や外国出身の方に協力していただき、日本と外国との「同じところ、違うところ」探しや外国の子どもたちの遊びを実際に体験していただきます。

参加を希望する方は、事前にお申し込みください。また、当日は見学もできますので、お気軽にお越しください。

▼月日 7月1日(土)
▼時間 13時30分～16時
▼場所 市民会館中ホール
▼テーマ 「国際交流」

▼内容 体験学習(外国の子どもたちの遊び)

▼対象 市内の小中学校5・6年生

▼募集人数 20人程度

▼参加料 無料

▼その他 参加者の送迎は、保護者が行ってください

▼申し込み 6月7日(木)から15日(木)までに企画広報室(☎1122)

6月1日から7日は「水道週間」です

市水道部は、水道週間の一環として、登別管工事業協同組合の協力により、水道ハッキンの無料取り換えを行います。希望される方は、お申し込みください。

なお、蛇口の種類によっては、有

「特設人権・困りごと相談所」を開設します

人権問題、金銭、離婚、不動産などの問題について、法務局担当官と人権擁護委員が無料で相談をお受けします。秘密は固く守られます。

▼日時 6月13日(火) 10時～15時

▼場所 登別サティ

▼問い合わせ 札幌法務局室蘭支局 (☎5111)

7月の粗大ごみ収集

粗大ごみの収集は、地域ごとに決められた年2回の収集時期に、電話の申し込みにより行います。粗大ごみを出すときは、1枚160円のごみ処理券を購入の上、1品ごとにごみ処理券を張ってください。

▶申込方法 収集日初日の2週間前から収集日初日まで(土・日曜日、祝日を除く)の8時30分～17時に電話で環境資源課へお申し込みください

7月の粗大ごみの収集日・地区		
地区名	収集日	申込期間 (土・日曜日、祝日を除く)
鷺別町4～6丁目	7月3日(月)～7月8日(土)	6月19日(月)～7月3日(月)
大和町・栄町	7月10日(月)～7月15日(土)	6月26日(月)～7月10日(月)
若山町	7月17日(月)～7月22日(土)	7月3日(月)～7月17日(月)
登別東町	7月24日(月)～7月29日(土)	7月10日(月)～7月24日(月)
桜木町	7月31日(月)～8月5日(土)	7月17日(月)～7月31日(月)

※このほかの地区の収集日については、『家庭ごみ収集カレンダー』に掲載しています。また、今後の「広報のほりべつ」でも紹介していきます。

申し込み 問い合わせ 環境資源課 (☎52958)

ホームビデオ撮影講習会を開きます

ビデオ登録主催

プロカメラマンの、撮影技術を学んでみませんか。

▼日時 7月1日(土) 10時～15時

※雨天時は、7月2日(日)に順延します(順延のときは連絡します)

▼集合場所 亀田記念公園駐車場横

▼募集人数 20人(申込順)

▼受講料 無料

▼持参するもの ビデオカメラ、撮影用ビデオテープ、昼食

▼内容 ホームビデオの基本的な撮影方法(講義と実技)など

▼講師 今均さん

(STVニュースカメラマン)

▼申し込み 6月23日(金)までに佐々木さん(☎257570)

情報通信ケーブル埋設工事のお知らせ

北海道開発局では、地震などの大規模災害などに即対応できようよう、また、道路の安全確保などのため、情報通信ネットワーク整備を進めています。

今年、富浦地区から鶯別地区まで(約13km)の歩道にケーブルを埋設します。工事に当たっては、細心の注意を払いますが、近くを通行される際は、特にご注意ください。

▼工事期間 6月上旬から平成13年3月末まで

▼問い合わせ 室蘭開発建設部室蘭道路事務所(☎33135)

棒針編み技術講習会を開催します

▼日時 7月5日から9月6日まで

の毎週水曜日 13時～15時

▼場所 室蘭市勤労婦人センター

(室蘭市栄町2丁目1-20)

▼対象 棒針編みで内職を希望する方

▼定員 20人(申込順)

▼受講料 無料

▼申し込み 6月22日(木)までに電話で北海道女性就業援助相談室室蘭分室(☎253200)

税務職員を募集します

▼受験資格 昭和55年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた方

▼試験の程度 高校卒業程度

▼第1次試験日 9月3日(日)(教養試験、適性試験、作文試験)

▼最終合格発表日 11月9日(木)

▼受付期間・申込先 6月21日(水)から28日(水)までに人事院北海道事務局(〒060-0004札幌市中央区大通西12丁目札幌第三合同庁舎)

▼申込書請求先・問い合わせ 室蘭税務署総務課

(☎24151)

第8回

ラブグリーンフェスティバル in KAMEDA

日時 6月10日(土)・11日(日) 10:00～18:00 (11日は16:00まで) 場所 亀田記念公園(富岸町3丁目)

みどりのコーナー

みどりの市 10日(土)・11日(日)

・庭木、観葉植物、草花、盆栽などを販売します。

ハーブと親しもう！ 10日(土)・11日(日)

・ハーブの寄せ植え展示、ハーブティーの試飲、ハーブを使ったクラフトなどの販売を行います。

ハーブ教室 10日(土) 13:30受付、11日(日) 10:00受付

・ハーブコーディネーターによるハーブについての説明や、数種類のハーブを使ったキッチンガーデンづくりの実技教室を行います。

(先着各15人。事前申し込みが必要です)

▶参加料 材料費1,000円(当日持参)

▶申し込み 6月5日(月)から電話で公園管理事務所(☎2511)

ツツジの苗木配布 11日(日)

・ツツジの苗木を無料で配布します。

▶整理券配布 13:00(先着250人、1人1株、大人の方限定)

▶苗木配布 14:00

盆栽展 10日(土)、11日(日)

・盆栽の植え方、せん定の仕方などを指導します。また、盆栽持参の方には実技指導を行います。

遊びのコーナー

森の工作室 10日(土) 10:00～16:00

・自然にあるものを利用して、木の葉のスタンプや壁掛け、コースターなどを自由に作ります。

ウォークラリー 10日(土)・11日(日)

・公園内にポイントを設け、各種の問題を解きながら1周して、正解と時間を競います。

10日(土)…受付10:30、スタート11:00

11日(日)…受付12:30、スタート13:00

ジャンケン大会 11日(日) 15:00～15:30

・勝った方50人に登別マリンパークニクスの入場券を差し上げます(対象は中学生以下)。

ジャブジャブ川金魚すくい 11日(日) 11:00～12:30

特別参加

・登別太鼓『夢童』の太鼓演奏…10日(土) 13:00～13:30

・幌別西小学校『てんでこ舞』による『よきこいソーラン』…10日(土)・11日(日) 13:30～14:00

※このほか、両日にわたり、飲食コーナーや地場物産品コーナー、露店、臨時郵便局などが開設されます。

問い合わせ

公園管理事務所
(亀田記念公園内☎2511)



あだちようこ
安達陽子さん
市制施行30周年・西暦2000年市民
実行委員会まなび部会スタッフ

「たのしむ・ まなぶ・創造」

私は、ボランティア団体「福祉の街づくり広場」で活動し、市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会まなび部会に参加しています。

まなび部会は、主に「のほりべつの人・自然・文化・産業」など、特色のある営みや活動をテーマに取り上げ、講師を招いて市内全域をキャンパスとし、いろいろな場所を教室にして、のほりべつ市民大学を開校しています。

第1回のテーマは「鬼」、第2回は「温泉と健康」、第3回は「雪」、そして第4回は「住んでいることが誇りに思える登別のまちづくり」を開催しましたが、受講されたみなさんのご感想はいかがでしたでしょうか。8月の市民大学は、福祉をテーマにした講義を予定しています。4月から介護保険制度が実施されましたが、介護を受ける人や介護をする人の生の声を聞き、介護について話し合ったり、実際に体験やふれあいができればと思っています。このほかにも、歴史・文化、自然環境、人間と動物のふれあいなどをテーマに行う予定です。みなさん、ぜひお越しください。

問い合わせ／市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会事務局（登別商工会議所内 ☎854 1 1 1）

▼問い合わせ 室蘭警察署
☎20110

- ▼対象者 市内に居住または通勤する方
- ▼活動場所 市民会館など
- ▼会費 1千円（年間）
- ▼申し込み 山谷さん
☎1006

剣道スポーツ少年団・登別 修道館の団員を募集します

- ▼練習日 毎週火・水・金曜日
- ▼時間 18時～19時30分
- ▼場所 富岸青少年会館（富岸町）
- ▼対象 小・中学生

遭難事故にご注意ください

- ◎本格的な山菜採りの季節となりました。例年この季節になると、山の遭難事故が多発します。
- ◎山に行くときは次のことを守り、事故に遭わないようにしましょう。
- ◎出かける前に、天候を確認し

- ◎行き先は、家族に知らせましょう
- ◎一人で山に入るのはやめましょう
- ◎目立つ服装をしましょう
- ◎笛やラジオなどを携帯しましょう
- ◎非常食としてあめなどを携帯しましょう

不法滞在・不法就労防止に ご協力を！

- ◎不法滞在者を含む来日外国人による殺人、強盗などの凶悪犯罪や麻薬、覚せい剤などの薬物犯罪が急増し、大きな社会問題となっています。
- ◎治安を直接脅かす凶悪犯罪、薬物犯罪の取り締まり
- ◎集団密輸入やブローカーなどが介在する不法就労あつせん、不法滞在者を呼び込む犯罪の取り締まり
- ◎来日外国人が犯罪や事故の被害者とならないための防犯活動
- ◎などを強力に進めるとともに、雇用主に対しても外国人の適正雇用を行うよう働きかけていきます。
- ◎みなさんのご理解とご協力をお願いします。

登別市音楽協会で 一緒に演奏しませんか

登別市音楽協会では、ピアノや弦楽器、管楽器の演奏者と指導者を募集しています。10月には、音楽発表会を予定しています。一緒に演奏してみませんか。

- ▼会費 1カ月2千円
- ▼申し込み 蓮井さん
☎1127

登別老人陶芸室の 会員を募集します

- ▼対象 市内に居住する60歳以上の方
- ▼募集人数 男女各2人
- ▼会費 1カ月1千円
- ▼申し込み 登別老人陶芸室
☎8208

3市合同文化事業

蒲田行進曲完結編

銀ちゃんが逝く

とき 7月16日(日)

開場 18:30

開演 19:00

ところ 市民会館大ホール

平成9年から行っている室蘭・登別・伊達の、3市合同文化事業として、「蒲田行進曲完結編・銀ちゃんが逝く」(作・演出 つかこうへい)を行います。

北区つかこうへい劇団による階段落ち、女優・内田有紀さん主演による感動の舞台を、ぜひご覧ください。

▶入場料(全席指定) 4,500円

▶チケット取扱先 市民会館、アーニス、ブックアベニューいりえ(若草町)、紀文堂書店(JR登別駅前)

問い合わせ

社会教育課 ☎881129

チケット発売中!



◀公園内の草木などを使って
コースターなどを作る「森
の工作室」



▼**お問い合わせ** 公園管理事務所（亀田記念公園内 ☎292-2911）
は国へお断りしませう。

▼**臨時無料駐車場** 登別サティ駐車場
※公園内の駐車場はイベント会場となるため、登別サティ駐車場をご利用ください。また、緊急車両の交通障害や近隣にお住まいの方の迷惑になりますので、公園周辺の道路や空き地への駐車は国へお断りしませう。

▼**日時** 6月10日（日） 10時～18時（11日は16時まで）
※詳細は、16ページの「情報のおたより」をご覧ください。

暖かな日差しが降り注ぎ、短い夏の始まりを感じさせる初夏の日。「すーっ」と思いきり吸い込んだ空気に草木の香りを感じたら、ちよっと出かけてみませんか。

豊かな緑に包まれた亀田記念公園では、子どもから大人まで楽しめる緑のイベント「第8回ラフグリーンフェスティバル in K.A.M.E.D.A」が開かれます。初夏の一日を自然の息吹を感じながらみんなで遊んでみませんか。

▼**日時** 6月10日（日） 10時～18時（11日は16時まで）
※詳細は、16ページの「情報のおたより」をご覧ください。

大人も子どももジャブ
ジャブ遊んじやおう

好き
このまちが
まちの国祭
6月

と な り ま ち ・ ホ ッ ト ラ ン

白老町

アイヌ民族博物館特別展「スコルト・サーミの世界」を見に来ませんか

アイヌ民族博物館では、ロシア・コア半島からフィンランドに移住した先住民サーミの生活と文化、歴史を約200点の資料で紹介しています。

ぜひ、ご家族で見に来てください。

▶開催期間 7月31日（月）まで

▶時間 8時～17時

▶場所 アイヌ民族博物館
（白老町若草町2-3-4）

▶問い合わせ アイヌ民族博物館
☎0144823914

室蘭市

だんバラ公園に
遊びに来ませんか

だんバラスキー場周辺の室蘭岳山産総合公園（通称「だんバラ公園」）には、夏の間も楽しめる野外総合公園が広がっています。炊事場を完備したキャンプ場など、設備が充実した自然豊かな高原で、初夏のレジャーを楽しみませんか。

▶**主な施設** 野外ステージ、パークゴルフ場、ゲートボール場、展望台、宿泊研修施設「サンパワー380」など
※一部施設には使用料がかかります。

▶**問い合わせ** サンパワー380
☎46055

伊達市

ゆっくり、ゆったり散歩しませんか
～有珠善光寺自然公園が開園～

有珠山噴火のため遅れていました有珠善光寺自然公園が、4月29日（土）に開園しました。大自然の中散策路をゆったりと散歩したり、フィールドアスレチックなどでリフレッシュしませんか。

▶**開園期間** 10月31日（木）まで（無休）

▶**開園時間** 9時～17時

▶**入場料** 無料（ただし、フィールドアスレチックは、中学生以下150円、大人300円）

▶**問い合わせ** 善光寺自然公園管理事務所
☎0142382911